



▲普段、あまり口にしない食材に箸が進む子どもたち（写真は若草小学校）
◀滋賀県特産の赤こんにゃくと丁子麩が入った『かしのじゅんじゅん』



『食』でつながる
滋賀県守山市の特産品が給食に

9月2日(水)、市内の小・中学校で、登別市と同じ昭和45年に市制を施行し、登別市と職員交流などを行っている友好交流都市・守山市にちなんだ給食が提供されました。

市は、市制施行50周年記念給食として、今年度、定期的に登別市や登別市とゆかりのある地域にちなんだ献立としています。

今回は、鶏肉などをすき焼き風に甘辛く味付けした滋賀県の郷土料理『かしのじゅんじゅん』や『近江牛入りのコロツケ』が登場。初めての味を楽しんだ柴田有真さん（若草小）は、「いつか守山市に行ってみたい」と、笑顔で話してくれました。

9/2

全国を旅する『登別市の魅力』

オリジナルフレーム切手
『登別市市制施行50周年』贈呈式

9/14

9月14日(月)、日本郵便株式会社北海道支社が市制施行50周年を記念して作製したフレーム切手が完成し、贈呈式が行われました。

市内の豊かな自然やイベント、ご当地グルメ、テーマパークなどがイラスト風にデザインされた同切手は、数に限りはありますが、市内の郵便局をはじめ、道内の郵便局やインターネットでも購入することができます。

▶市制施行50周年記念フレーム切手



感染症対策で直接会うことが難しい今、離れて暮らす家族や友人に、登別の魅力が詰まった切手で、近況をしたためた手紙を送ってみてはいかがでしょうか。

無理せず自分のペースで

からだスッキリ運動教室

9月1日(火)、しんた21で開催した『からだスッキリ運動教室』（市主催）に、市民14人が参加しました。

運動習慣を身に付けて生活習慣病を予防することを目的とした同教室。この日は、保健師と管理栄養士からの講話に加え、インストラクターの指導による筋力トレーニングや柔軟体操を実践。

参加者の一人は『楽しかった。エアロビクスは家でもやってみたいです』と話し、日々の運動の大切さを改めて実感していました。

9/1



▲音楽に合わせてエアロビクスをする参加者

地域に息づく大切な文化

令和2年度アイヌ文化講座

9月1日(火)から約1カ月間、全5回の日程で『アイヌ文化講座』（市教育委員会主催）を開催しました。同講座は、アイヌ文化に対する理解と関心を深めることを目的に毎年開催しており、今年度は、ウポポイの見学も講座に組み込みました。2回目となる9月8日(火)には、登別アイヌ協会会員を講師に迎え、アイヌ文様の刺しゅうを体験。アイヌ民族の文化や歴史に興味があつて参加したという金久保章子さんは、「難しいですが、楽しい」とひと針ひと針丁寧に、アイヌ文様の縫い取りをしていました。

9/8



▲講師の指導を受けながら、刺しゅう体験を行った参加者

◀ランチオンマットに施されたアイヌ文様の刺しゅう